平成２９年１１月６日
多摩川流域連携会議
調布市政策企画課調製

多摩川流域連携会議の取組について

1 平成29年度多摩川流域連携会議の開催状況

（１）平成29年4月28日(金)　第１回多摩川流域連携会議
- 参加自治体：府中市・調布市・日野市・狛江市・多摩市・稲城市・大田区・世田谷区
- 議題：連携会議のこれまでの取組について，共通課題(ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ･ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ,水辺の活用,ﾐｽﾞﾍﾞﾘﾝｸﾞﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ)の意見交換，
  各市のイベントへの参加について(狛江古代カップいかだレース,ｲﾍﾞﾝﾄﾗﾘｰ,郷土芸能ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙへの参加・連携），
  多摩川の利用マナー，魅力発信の取組の検討について，ドローンを活用した防災協定について

（２）平成29年5月26日(金)多摩川流域連携会議臨時会
- 参加自治体：府中市・調布市・日野市・世田谷区・川崎市・八王子市
- 議題：京王電鉄㈱が運営する沿線情報発信webサイト「街はぴ」との発信情報の連携について

（３）平成29年10月31日（火）第2回多摩川流域連携会議
- 参加自治体：府中市・調布市・日野市・狛江市・多摩市・稲城市・大田区・世田谷区・川崎市・八王子市
- 議題：共通課題(**ドローンを活用した防災協定**,魅力発信の取組検討)について，各市のイベントへの参加について(狛江古代カップいかだレース,イベントラリー，
  郷土芸能ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙへの参加・連携），**観光情報等の多言語サイト（「Guidoor(ｶﾞｲﾄﾞｱｰ)」）について**

＜連携会議の様子（一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団による観光情報等の多言語案内に関する説明）＞

2 多摩川流域連携会議の主な取組状況

①多摩川をテーマとしたイベント等の検討・実施

■連携イベントの実施

○多摩川流域自治体交流イベントラリー　（平成２５年度～毎年度開催）

平成２９年５月２７日から１１月４日までの期間，連携自治体等で行われるイベントを，誰もが参加できるようスタンプラリー形式で繋ぎ２つ以上のイベントに参加した方に，抽選で各自治体の友好都市の旅や特産品などの賞品をプレゼント。

○多摩川流域郷土芸能フェスティバル（平成１２年度～毎年度開催）

平成２９年１２月３日 多摩川流域自治体で育まれた郷土芸能（囃子，和太鼓等）によるフェスティバルを開催。
平成２７年度からフェスティバルのＰＲ及び参加自治体の特産品のＰＲを兼ねて会場近くの広場（狛江駅前）にて，多摩川流域物産展を開催。

■連携会議出席の若手職員の交流

○狛江古代ｶｯﾌﾟ第27回いかだﾚｰｽへの参加　平成29年7月16日（日）

参加ﾒﾝﾊﾞｰ(若手職員):府中市，稲城市，日野市，多摩市，調布市
(レース後,狛江市と大田区を含めた23人で多摩川BBQ懇親会を開催)
＜参考: 大塚グループ賞受賞～(順位91チーム中74位)＞

＜若手職員によるH29いかだレース参加の様子＞

②ドローンを活用した防災協定について

○「災害時における無人航空機(ドローン)を活用した支援活動等に関する協定(平成29年3月31日付）」
- ＮＰＯ法人ｸﾗｲｼｽﾏｯﾊﾟｰｽﾞ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ・狛江市・調布市協定締結。

○平成２９年度 第１回多摩川流域連携会議
- ＮＰＯ法人ｸﾗｲｼｽﾏｯﾊﾟｰｽﾞ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ代表の古橋大地氏（青山学院大学教授）をお招きし，協定の内容やドローンを活用した災害支援活動等に関する説明を依頼。※協定の輪が広がり，災害対応能力の向上につながることを期待。

○平成２９年５月　首長懇親会　NPO代表古橋大地氏から取組を紹介

○平成２９年７月２６日 新たに締結する４市（府中市・日野市・多摩市・稲城市）と狛江市・調布市を含めた６市合同の締結式を実施

＜NPOｸﾗｲｼｽﾏｯﾊﾟｰｽﾞ･ｼﾞｬﾊﾟﾝと狛江市・調布市に加え府中市，日野市，多摩市，稲城市の合同協定締結式＞

■協定に関する状況
○世田谷区：NPO法人ｸﾗｲｼｽﾏｯﾊﾟｰｽﾞ･ｼﾞｬﾊﾟﾝとの協定に向けて準備中
○○東京都「多摩の振興プラン(平成29年9月）」に多摩地域における広域連携の取組事例として掲載

③観光情報等の多言語サイト（「Guidoor(ｶﾞｲﾄﾞｱｰ)」）について

○「調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定（平成29年10月5日）」
- 一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団と調布市が協定を締結。

○平成２９年度 第２回多摩川流域連携会議
- 一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団(事業本部長落合正和氏)をお招きし，協定内容やスマートフォンを活用した観光情報等の多言語案内に関する説明を依頼。
  ※ラグビーW杯2019，東京2020大会等も見据え，協定の輪が広がり，市域を越えて観光地を巡る回遊性の向上につながることを期待。

＜一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団と調布市の協定締結式(平成29年10月5日)＞

＜一般財団法人ﾓﾊﾞｲﾙｽﾏｰﾄﾀｳﾝ推進財団「Guidoor(ｶﾞｲﾄﾞｱｰ)」＞

④魅力向上に向けた取組について

■京王電鉄が運営する沿線情報発信webサイト「街はぴ」との発信情報の連携について

共通課題
①各市の公式HPのみの発信では限界があり，あらゆる媒体を活用した発信が必要
②各市の公式HPは，紹介できる店舗などに限界がある
③市民からの投稿ツールを設けても利用数が少ない　など

○平成２９年３月「街はぴ」のリニューアル（京王電鉄）
①「街はぴ」に掲載する記事情報の双方向性の向上
②おすすめスポットなどを紹介するライター記事が埋もれないよう「おでかけコース」としてグレードアップし，クオリティの高い記事の魅力向上と「おでかけコースマップ」機能を付加。

＜京王電鉄㈱HP「街はぴ」＞

○平成２９年５月９日観光情報等の課題を協議(京王電鉄と調布市)
⇒効果的な情報の発信について複数部署を交えた意見交換を実施。

○平成２９年５月２６日　多摩川流域連携会議臨時会を開催
京王電鉄㈱広報担当が投稿方法,運用方法等について説明・意見交換。

各市区において庁内調整により「街はぴ」との連携を進めている。

■沿線自治体と京王電鉄による今後の連携した取組（検討中）
○「イベントラリー」や「郷土芸能フェスティバル」の広域連携イベントなど，市区域を越えたお薦めスポットやお出かけ情報について，各市と京王電鉄が連携して掲載を検討（掲載ｺﾝﾃﾝﾂ：「厳選京王沿線あれこれ」）
○沿線自治体が投稿する情報を基に，テーマごとに沿線各市区の観光・イベント情報を特集した発信の検討や，オリパラ・ラグビー関連特集などの検討